

2008年 麻生区市民健康の森 植樹祭&収穫祭 観察シート ◆里山の多彩な木々の楽しみ 一か所に30種以上！

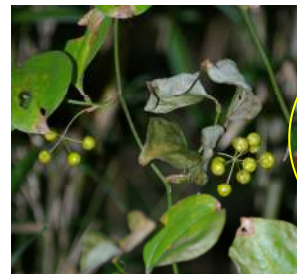
多摩自然遊歩道との境界斜面、栗の木東側には、高木はコナラ・クヌギ・スギがあり、その下に中木のアカメガシワとヌルデが元気に伸び、さらにニワトコ・シラカシ・アラカシ、若いコナラ・エゴノキ・エノキが枝を広げる。その下方にはカマツカ・ゴンズイ・ムラサキシキブ・ヒメコウゾ・ヤマグワ・サンショウ・タラノキ・ガマズミ・ツルウメモドキ・アオキなど、さらには地面近くに低木のコゴメウツギ・モミジイチゴ・ニガイチゴ・サルトリイバラなどが息づき、幅20mほどに30種以上はある。

アカメガシワやヌルデは草原が森に変わるさい、まず成長する「森づくりのパイオニア植物」。やがて林が育ち、林内や縁にはやや日陰でも育つムラサキシキブやゴンズイなどが生え、美しい実で野鳥を呼ぶ。こんなふうにして、植物・動物が多様で豊かになっていくのが雑木林のしくみだ。

枝が強いカマツカは鎌の柄や、別名ウシコロシと呼ぶように牛の鼻輪（鼻輪を通す穴あけ）に使われ、ニワトコは赤い実が果実酒、幹の髄が顕微鏡観察の切片作成用のピスに、ヤマコウバシの葉は飢饉のときの食用など、多彩な植物は人びとの暮らしに多彩な恩恵をもたらしてきた。（写真：上からアカメガシワ・ニワトコ・カマツカ・ヒメコウゾ・ゴンズイ・ムラサキシキブ・ガマズミ・サルトリイバラ。花・果実は別の場所の木含む）



自然遊歩道との境界斜面（栗の木の東）





2008年 麻生区市民健康の森 植樹祭&収穫祭 観察シート ◆木の葉のいろいろ (遊歩道沿い斜面地)

単葉



●左の写真(単葉)

上:左から右へシラカシ・アラカシ・アオキ。

中:左からクヌギ・コナラ・クリ。

下:左からヤマコウバシ・コゴメウツギ・サルトリイバラ・ガマズミ

●右の写真(複葉)

左:上から下へニワトコ・ゴズイ・サンショウ。

右:ヌルデ

●下の写真(キイチゴの仲間)

左からモミジイチゴ・ニガイチゴ(この2つは単葉)、クサイチゴ(複葉)

複葉



キイチゴの仲間



発行：麻生多摩美の森の会／多摩美みどりの会

印刷協力：株式会社 リコー

指導：自然観察指導員 高橋 英

写真：木村信夫 イラスト：勝田佳代子